

送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 2 枚
送信日 2025 年 2 月 18 日



スンダスローロリス展示開始のお知らせ

平素は当財団の事業につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2024 年 10 月に当園では初めての展示となるスンダスローロリスが来園しました。ペアのお見合い・同居を経て、この度 2025 年 2 月 22 日(土)より展示を開始いたします。

多くの方にその姿を見ていただけるよう、貴メディアにてご紹介ください。何卒よろしくお願いいたします。

■個体情報

種名:スンダスローロリス (霊長目ロリス科)

展示頭数:2 頭(ロヤール(♂)、カオリ(♀))

飼育場所:アフリカセンター内「夜行性サルの世界」



ロヤール



カオリ

■スンダスローロリスとは

英名: Sunda Slow Loris

学名: *Nyctisebus coucang*

生息地: マレー半島、スマトラ島および周辺の島々

特徴:

- ・低地林やプランテーションなどでくらす小型のサルのなかま
- ・樹液や樹脂を主食としており、果実、昆虫類、葉、鳥類の卵も食べる。

IUCN レッドリスト: 2 番目に絶滅のおそれが高い EN(危機)に分類される

■スローロリスについて

スローロリスはペットとしての人気が高く、密輸が摘発されることが多い種です。当園では密輸された個体を保護するとともに、飼育下での研究を進める“スローロリス保全センター”を 2016 年に設置しました。現在、この施設では 20 年近く前に空港で保護された 2 頭のレッサースローロリスを飼育しています。非公開施設ですが、開催日限定のイベントでご覧いただくことができます(直近では 3 月 2 日(日)開催予定)。

■国内飼育状況

国内では6園館で計24頭が飼育されています(2023年12月末時点)。(公社)日本動物園水族館協会と協力の元、スンダスローロリスの繁殖を目指すために、2024年10月に札幌市円山動物園からメス1頭、恩賜上野動物園からオス1頭が来園しました。当園には別種であるレッサースローロリスがすでに飼育されておりますが、スンダスローロリスの飼育展示は記録から確認できる範囲ではおよそ24年ぶりとなります。しかし、当時は分類がはっきりしておらず、「スローロリス」とのみ表記していたため、スンダスローロリスとして展示するのは初めてとなります。

■展示施設について

アフリカセンター内「夜行性サルの世界」にて展示します。当園の常時公開施設でのスローロリス類の展示は約6年ぶりとなります(2019年6月までレッサースローロリスを展示)。スンダスローロリスの隣にはアフリカの夜行性霊長類であるポトがいます。同じロリス科でありながら、外見的特徴が異なる2種の比較をすることもできます。

■注意事項

夜行性のため、昼夜逆転している施設で飼育しております。撮影の際は暗所での撮影(フラッシュ禁止、赤色光照射での観察)となりますので、あらかじめご了承ください。

※体調や群れの状態により、展示状況が変わる場合があります。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26 TEL: 0568-61-2327 FAX: 0568-62-6823 メール: info@j-monkey.jp 問い合わせ先: 綿貫、高野、赤見、田中、廣澤、土性、星野
